

## 鈴木隆さんの『すみ風』についてひと言 青山 崇

### 1、「すみ」について

鈴木さんは、「すみ風」の「すみ」の漢字は「隅」と確信している。理由として、これほど隅の模様が目立つ風は珍しい。「すみ」の名は風の隅から来ていると言つ。

私はひと言付け加えたい。

熊本は、かつて隈本、隅本とも書いたという。調べると、隈は、訓読み：くま、すみ 音読み：ワイ。隅は訓読み：すみ 音読み：グウ、難読語：隅本（くまもと）とある。

もともとすみは「スミ」の意味でなく「くま」の意味でなかったろうか。だから「すみ風」は「くま風」で隈（隅）風と表記していたのだろう。

隈は隅より難解なため、いつしか、隅をあて、「本」も略し「すみ風」となったのでなかろうか。

### 2、絵柄

蛇の目紋と烏帽子形兜（えぼしなりかぶと）の絵柄について、鈴木さんは「清正信仰に篤い想いを抱く民衆の知恵者が、時の幕府に懾り、咎めをうけないよ

うに絵柄を巧みに抽象化して考案した風であると考えられる。」その証拠に「すみ風」は忠広領だった丸岡領34村を中心とした川南のみで揚げられているという。同感である。

丸岡領は作柄の悪い村が多く、領知1万石といっても実質5千石ほどだったと郷土史家は言っており、幕府・庄内藩の処遇は良いものではなかった。

したがって「絵柄の



## つちだ よしはるさん『やくそくの『大地踏』』発行

土田さんは鶴岡なしみの絵本作家で、父は藤島・柳久瀬出身です。今年、王祇祭の日（2月1日）に発行されました。

大地踏は王祇祭の最初に子どもがまっ大切な舞です。その大役が元氣なけん太や相撲が得意なりゆう星でもなく、ことう太です。みんな驚きました。一番驚いたのはことう太でした。おしいさんと「たよ

抽象化」は理解できるのである。

### 3、清正信仰（セイシヨコさん）

清正の治山治水と土木事業で熊本城内の加藤神社に祀られる。

彼の事業は、熊本4大川川の改修。緑川鵜の瀬堰、球磨川遙拝堰、菊池川の各種改修等により広大な穀倉地帯ができた。

熊本平野・八代平野・玉名平野への干拓と堤防の整備により広大な畑作地域が生まれた。

「さま」にことわりにいきましました。しかし、亡くなつたお父さんとの約束『大地踏』してくれのう。やくそくだぞー」や「たよさま」の頼みを聞いて「ぼくやります」とはつきり返事しました。それから毎日稽古が始まりました。王祇祭当日、立派にやり終えました。家の人はもちろん「たよさま」初め、みんなから「よかつたのう、よくやつたのう。」と褒められました。子どもなりに大変なことを克服していく温かい話です。ぜひお読みください。

## 長沼温泉「ぼっぼの湯」奮闘記 板垣久喜（長沼上新田）

マコモタケは水田で稲つくりとほぼ同じに栽培でき、イネ科作物で草丈は2mを越える。平成16年に長野県から2株を取り寄せ、農家2人に頼んで水田に植えてもらった。

マコモタケは、野生ではイネ科の雑草の「刃ズキ」であり、塊茎で増え、昔、農家は引き抜くのに苦労した。

「田んぼにガズキを植えるバカが居る」との声があつたと聞いた。それは「野生マコモ」で、我々のは「食用マコモ」と反論したかつたのだが、芳しくないスタート。併せて知名度はゼロ。「ネギ？」「カラドリ？」とか言われ簡単には売れない。

当時の役員職員のアドバイスもあり、アルケッチアーノの奥田シエフに持ち込んでご指導を頂いた。

あえて市場出荷せず直販型を選んだ。結果は需給のバランスに苦しんだ。

栽培技術の確立のため、松島や長岡で開催された「マコモサミット」にも会員と共に参加し研修に努めた。

での販売の外、食堂でも、マコモタケラーメンやマコモタケだけを使った「マコモだけ弁当」の開発などに努力した。

いろいろな場所で試食コーナーを設けてもらい、知名度アップに努力したが、なかなか繋がらなかった。

一方、収穫期間が9月中旬〜10月下旬と短い為、レストランでも月間メニューに組めない、スポット的な注文しか出来ないという状況だ。

冷凍や冷蔵ポイル、乾燥と試行錯誤したが、どれも生の食感にはかなわず断念。生出荷にこだわって、現在は鶴岡市と酒田市のレストランや湯田川温泉旅館、青果店にも出荷。さらに学校給食用として、生とポイル物を納めさせて頂いている。

3年前からはアルケッチアーノ経由で東京のレストランにも週々、4回のペースで送っている。

マコモタケは特別な味はなく、何にでも合う。特に油との相性が良く、炒めやテン普拉が好評だ。

食物繊維が多く、カリウム豊富な健康食材で、ぼっぼの湯食堂係長のTさんからは、8種類のメニュー開発もして頂いており、今年の秋にはマコモだけの宴会料理として提供したいとも考えている。



徐々に面積を増やし、ぼっぼの湯直売所



# バンクーバーの朝

新町 齋藤留治

前回はアジアとヨーロッパの文化が混じり合うエキゾチックな国トルコの街で経験した朝、日本のお寺のようなモスクから発せられる大音響にはビックリしたが、笑えないような物語も聞いた。

モスクの近くに住むアメリカ人かどっかの人が、毎朝の大音響に悩まされ耐え切れずに、モスクのスピーカーのケーブル線を切断に及んでしまつて警察に逮捕されたという。

かたやこんな大音響の無いカナダのバンクーバー。朝は、爽やかな野鳥やリス達によって目覚める。

私が泊まっていた家の背後にはかなり高い山々が聳えていて、街の人々が普段歩くような道路にも「熊に注意」というような絵が掲げられている森の中の街。

夏にかけてのバンクーバーは夜明けが早く、早起きの鳥達は4時頃から「ピーヨ・ピーヨ、キョルル…」と庭先で騒ぎまわっていた。

その鳥達の声に混じつて時々「ガサゴソ・ガサゴソ」という音が聞こえてくる。

熊さんも早起きなので、庭に熊でも来ているのだろうかと思つてカーテンを少し開いてみると、居るのは数匹の小リス達であった。彼等（彼女）が枝を飛びまわつて枝が擦れている音であった。

（日本では、山でもり

すを見かけるといふ事はめつたに出来ないが、バンクーバーでは当たり前です。

人々は追いかけてたり脅したりはしない。見かけた限りでは猫や犬までもリス等に無関心。

自然大好き人間がゴマントいるカナダから、転じて鳥や動物達を見ると追いかけてまわす日本。



市消防団藤島方面隊（成澤正喜隊長）春季訓練（4/22）

に花弁を口ばしでちょん切つて後ろから吸うのだそうである。別に嘘をつく訳でもなくウソと付けられた鳥は大迷惑だが、嘘を積み重ねて生き延びているのはアベ政権も面白い加減にして欲しい。

桜の季節もあつという間に過ぎようとしているが、私が泊まっていたバンクーバーにも沢山の桜が植えられていて今は見頃の頃か。この桜にとつて迷惑なのは鳥達。

毎年「今年の桜はチラホラとしか咲かないな」という声が聞かれるが、悪さをするのはウソやヒヨドリらしい。

日本野鳥の会で発行している「野鳥」という本によると、鳥達は

蜜を吸うために花弁を口ばしでちょん切つて後ろから吸うのだそうである。

別に嘘をつく訳でもなくウソと付けられた鳥は大迷惑だが、嘘を積み重ねて生き延びているのはアベ政権も面白い加減にして欲しい。

## 『5時に帰るドイツ人、5時から頑張る日本人』を読む③ ―余裕（休暇）があつてこそ 良い仕事ができる 大いに休め

―あらためて憲法を学ぶ 青山崇

ドイツはすべて良いわけではない。例えば労働時間が適用されるのは、社会保険が適用される人だけである。しかし、日本では夢のようなことも実施されている。少し紹介しておこう。

「ワーキング・タイム・アカウント」（労働時間貯蓄口座）が約6割の労働者に普及している。

では考えられている。しかし、日本では、「罪悪感を感じる」人が60%と高い。

気分転換に最低1週間、本当にリフレッシュできるのは2週間目からだと言う。さらにまだ少ないが、大企業で1ヶ月、長ければ1年間の長期休暇もある。私ごとで恐縮だが、40歳後半頃だろうか、自律神経失調症に侵され、悩んだ末思い切つて期間を決めずに休んだ。そのせいか快復して現在に至っている。



### 早く辞職せよ

「女性をナメンジャーネーよ」とは、俺がお世話になつて居る所で女性の達の会話だった。日本中あちこちでそんな話は多いでしょう。

▲あんなひどい会話をした記憶はございませんと申していたが、全くヒドイ内容でしょう。少しでも他社より良いものを書きたいという気持ちに付け込んだ、卑劣な口の利き方だ。スキは見せられない、怖い職場だネー。

▲そんな趣味があるのかネ・手を縛つてもいいかなンテ。ほかで言う話かよ。カアチャンカウエグデ、トガダサデハライメヤ。

▲次官には人権はないのか。本人が否定しているんだから、証人に出てきてもらわにや。とは、口をトンガラケデの所管大臣の言葉だ。証人が出てくることは

以後、長期休暇は絶対必要と、調子の優れない人には「周りを気にせず」休むことを勧めてきた。

働く目的は違つたろうが、皆に共通する最大の目的は、生活の糧をえることであらう。しかし、健康を損なえばそれができなくなる。まさに「健康第一」なのだ。

当たり前すぎるのだが、カロウシ日本はこれをないがしろにしている。大いに「休むをとるべし」。

ナイと踏んだのでは。とは評論家の話した。▲最初に「あれじゃアウトだな」と言つていたものが、一転擁護に回つた大臣。次の夜には辞職願を出したとヨ。

大臣の頑張りは何だったんだ。大臣が次官からハシゴを外されたんだ。ミニクイ姿だ。

▲そんな時でも裁判で頑張るんだと息巻いていたが、イヤな思いをさせられた記者がメモを出して喋り始めたゾ。引き受けてくれる弁護士はいるのかネ。

▲事務屋ではトップと言われる次官。局長を辞めた佐川氏とは東大で一緒だったんだと。東大とは、偉くなつてからのウソの吐き方を教える所か。成績が良く親には自慢の息子も、ウソで中途引退じゃ恥ずかしがるうぜ。

▲悪事が重なつたネー麻生さん。2人の処分を決めて辞職だナ。根っこは首相だぜ。（石川）